



アエファ AEFA通信

NPO法人 アジア教育友好協会
〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F
電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721
<http://blog.canpan.info/aefa/>

日本の交流校の先生による、タイ現地視察 及び交流授業が行われました！！

8月1日～6日、町田市小山田小・富田校長&守屋先生、相模原市広田小・遠田先生、江戸川区二之江小・今井先生がタイ山岳地帯の学校を訪問しました。

☆ファイコン小学校

2008年度建設校であるファイコン小に滞在し、8月3日、早朝の食事準備から、交流授業、学校見学、伝統文化の学習見学、教会の寮見学まで、幅広く活動しました。



朝早くから食事の準備に取り掛かります



日本から持ってきた長縄。うまくとべるかな？



じゃんけん列車-最初は恥ずかしがっていた子供も最後はみんなで長い列車ができました



赤羽小から送られた糸電話。プーメラン、ぼっちゃんかえるなど興味しんしん

交流授業では、守屋・今井両先生が、5年生を対象に、算数の授業と日本紹介の授業を行いました。



日本からの折り紙もプレゼント



伝統文化の学習見学、真剣な様子が伝わります



今井先生は今年、二之江小がファイコン小と交流校になったので、学校の様子をプリントアウトし、ファイコン小で紹介。また、二之江小の子供たちからの自己紹介カードは、ファイコン小の子供たちには興味深く、とても喜んで見て、自分たちも返事を書きました。

守屋先生は、折り紙を短冊にし、それを貼り輪を作って、切るとどうなるかというものと、タングラム（図形のパズル）を子供たちに教えました。子供たちは折り紙を大事そうに使い、はさみを入れていか迷う場面もありました。タングラムも一生懸命に取り組んでいました。授業のあと教室をのぞくと、さっき授業で使った折り紙を大事そうにしている子供たちが印象的でした。



地域の支援者からの贈り物贈呈



折り紙も上手にできました



サムソップ小の子供たちが描いたドラえもん絵をもらいました

☆サムソップ小学校

8月4日、フレンドシップ校第1号の小山田小の富田校長先生・守屋先生がサムソップ小を訪問し、交流を深めました。両校の交流は6年目を迎え、これまで小山田小では、竹炭の売り上げをサムソップ小に寄付し支援を続けてき

先生方の視察及び「第5回AEFAフォーラム」は、財団法人三菱UFJ国際財団様のご支援をうけて、実施しています。

ちくぬい作品のご紹介～ラオスの奨学金に

ちくぬいボランティアの皆様のご努力により、ラオス手織り布からバラエティー豊かなステキな雑貨に生まれ変わっています。一部ご紹介いたします。今後、チャリティ価格で、会員の皆様への販売を予定しています。売り上げは、ラオス山岳地帯の生徒が師範学校に通うための奨学金に充てられます。



大阪府門真なみはや高校生のボランティア活動

8/1からの、日本のフレンドシップ校の先生方によるタイ北部山岳地帯ファイコン小学校への視察にむけて、門真なみはや高校3年、ジラク・チッタマクンさんが、ファイコン小映像のタイ語から日本語への翻訳をボランティアでお手伝いしてくださいました。笑顔のジラクさんですが、このような大変な生活でも、一生懸命学んでいる子ども達がいることを知り、思わず涙が出そうになってしまった・・・とのこと。ご協力、本当にありがとうございました！



白石先生のご協力で、映像を見ながら逐語訳していきます



福井県の交流校で 出前授業を行いました

今年も、7/7～9にかけて、福井県坂井市・勝山市・鯖江市の学校で、交流しているベトナムの友だちの生活や学校を伝える授業を行いました。福井県はAEFA理事長出身地であることから、母校坂井市平章小の元校長、松本先生・三浦先生のご協力を頂きながら、活動への理解も年を経るごとに広まっています。

最初に谷川理事長から、AEFAの成り立ちの話と、「地方のみんながこれから日本の力となっていくから、がんばって欲しい」と挨拶。平章小では、同行された松本元校長先生から、「今日は七夕だから、ボランティア活動をして人のためになりたいということも願いに入れてもらいたい」とのお話がありました。



次に、アジアの山岳地域の生活、学校に行けない子供の様子、山の上で寄宿生活を送りながら勉強する子供の様子を、ラオスの映像『ダーちゃんの日』や他の写真等で紹介。その中でもタイのNGOスタッフのペットさんの実話『象に乗って学校へ行く』の話には子どもたちは、しんと静まり聞き入り、また現地の子供の夢は「大人になること」というには、現地の大変な生活の状況を実感しているようでした。



「まごころ委員会」から
文具具の贈呈
◎ 河和田小

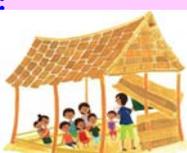
- ☆ 7/7 平章小学校（理事長出身校）対象：6年生80人
- ☆ 7/8 勝山市成器西小学校 対象：3-6年生
- ☆ 7/8 勝山市村岡小学校 対象：3-6年生
- ☆ 7/9 坂井市三国北小学校 対象：全校児童＋幼稚園
- ☆ 7/9 鯖江市河和田小学校 対象：5年生52名

また、7/8には、AEFA顧問、松山信裕 勝山市議の同行で、山岸正裕市長・梅田教育長に面談しました。AEFAの活動について、引き続き報告すると共に、ワンコイン・スクールPJについても紹介しました。

AEFA イラスト by かと一ゆーこさん

女子美術大学在学中の かと一ゆーこ（加藤祐子）さんが、AEFAのイラストを描いてくださっています。

「第1回矢祭町 もったいない図書館 手づくり絵本コンクール」で最優秀賞を受賞された加藤さん、あたたかいタッチと、思わず惹き付けられる、魅力あふれた作品の数々・・・こどもの生き生きとした表情が素敵ですね。



これらのイラストは、AEFA教材や、HPなどに登場いたします。どうぞお楽しみに！



「ニーハオ」さんに AEFA募金箱！！

蒲田の地で30年近く、元祖羽根付き餃子を中心に中国家庭料理を提供する「ニーハオ」。店主の八木様は、45歳で中国残留孤児として帰国されたあと、日本語をいちから勉強。中国料理学院で改めて料理を学び、蒲田にみんなに親しまれるおいしい本場の餃子を中心としたお店を開店されました。今や、7月にオープンしたばかりの銀座店もあわせて、蒲田・芝公園・町屋の計8店舗で、おいしいお料理を楽しむことができます。



店主の八木様

このたび、店主の八木様のご理解により、ニーハオ様の4店舗（蒲田、銀座店）にAEFAの募金箱を置かせていただけることになりました。もし、AEFAの募金箱を見かけたら・・・ぜひぜひご協力ください。八木様、「ニーハオ」の皆様、ご紹介頂いた石井克則様、有難うございます！！！！

上村基金様によるご支援決定！ ～ラオス 山岳地帯トゥムリーフン学校～

上村基金様のご支援で、ラオス山岳地帯タオイ郡トゥムリ地区に、近辺5か村の中心となる基幹校の建設を行います。山岳地帯におけるモデル校として、パチュドンやブオンナムのように地域と共に学校を創っていきます。現地は、川に沿って人口400-800人ほどの村が点在しています。雨季には川の渡渉が大変なことから、行政が新しい土地を用意して地区の中心地を移し、学校も広くて安全な新しい場所に建設予定です。



村の小さな分校。



内部の様子

★10/30(土)「第5回AEFAフォーラム」開催！！ 「環(とも)に育つ～学びの原点を見つめて～」

節目となる今回は、初の試みとなる、会員の皆様との懇親交流会を同時開催いたします。フォーラムでは、去年に引き続き、日本のフレンドシップ校の先生方が現地（タイ山岳地帯）の小学校に滞在。山岳少数民族カレン族の村を視察したり、助け合って生活する児童・寮生との交流や、24時間体制で子ども達を見守る先生方との対話を経験、テーマ毎に発表していただきます。AEFA交流の意義や学びの原点を改めて考え、意見交換できる場としたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています！！